

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 26 日

上場会社名 ロンシール工業株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 4224 URL <http://www.lonseal.co.jp/>
 代表者 取締役社長 星 一也 TEL (029)832-8805
 問合せ先責任者 人事・総務部長代理 江口 幸治

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	4,882	△5.6	△81	—	△84	—	△66	—
19年3月期第1四半期	5,171	8.8	126	△38.7	138	△18.6	88	3.5
19年3月期	22,335	—	659	—	565	—	230	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	△1.38	—
19年3月期第1四半期	1.84	—
19年3月期	4.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	21,497	8,698	40.4	180.43
19年3月期第1四半期	22,199	8,659	39.0	179.98
19年3月期	22,333	8,783	39.3	182.26

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
	第1四半期末
(基準日)	
	円 銭
20年3月期第1四半期	—
19年3月期第1四半期	—

3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

業績予想 (平成 19 年 5 月 10 日発表) の見直しは行なっておりません。中間決算時に通期の業績予想の見直しを行なう予定です。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業業績の改善や設備投資の増加などを背景として景気回復基調を持続しておりますが、一方では、原油価格の高止まりによる素材価格の値上り傾向が続いており、また、金利の上昇懸念などもあり、先行き不透明感を残しております。

建設業界及び合成樹脂加工品業界におきましては、需要の伸び悩みと販売競争の激化、原材料価格の値上り等により依然として厳しい状況が続いております。

当社グループはこのような状況の下、営業力の強化と積極的な販売活動に努めてまいりましたが、当社グループの第1四半期の売上高及び利益は、季節要因等により他の四半期に比して低い傾向にあり、当第1四半期の連結売上高は、48億82百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

損益面につきましては、当四半期においても徹底したコストダウン及び諸経費の削減などの諸施策を継続しておりますが、売上高の減少や原材料価格の更なる値上り等により、当四半期の営業損失は81百万円となり、経常損失が84百万円、四半期純損失は66百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産合計は、前連結会計年度末より8億35百万円減少し、214億97百万円となりました。その主な原因といたしましては、受取手形・売掛金が8億85百万円減少したことによるものであります。

負債の部では、前連結会計年度末より7億50百万円減少し、127億99百万円となりました。その主な原因といたしましては、支払手形・買掛金が5億66百万円減少したことによるものであります。

純資産の部では、前連結会計年度末より85百万円減少し、86億98百万円となりました。その主な原因といたしましては、利益剰余金が66百万円、その他有価証券評価差額金が17百万円減少したことによるものであります。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・ 固定資産の減価償却の方法は上半期見込額のうち当四半期分を計上しております。
- ・ 税金費用の計上基準等については簡便的な方法を採用しております。
- ・ その他影響が僅少なものにつきましても一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期末	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金・預金	1,932	1,027	△905		970
受取手形・売掛金	6,749	7,248	498		8,133
棚卸資産	3,123	3,448	324		3,230
その他	440	489	49		561
流動資産合計	12,246	12,213	△32	△0.3	12,896
II 固定資産					
有形固定資産	7,900	7,639	△261		7,711
無形固定資産	121	107	△14		116
投資その他の資産	1,931	1,536	△394		1,608
固定資産合計	9,953	9,283	△670	△6.7	9,436
資産合計	22,199	21,497	△702	△3.2	22,333
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形・買掛金	4,699	4,666	△32		5,233
短期借入金	2,990	3,116	125		3,032
その他	2,306	2,121	△185		2,288
流動負債合計	9,997	9,904	△92	△0.9	10,554
II 固定負債					
長期借入金	16	—	△16		—
預り保証金	2,452	2,076	△375		2,170
長期未払金	802	546	△255		558
その他	253	270	16		265
固定負債合計	3,524	2,894	△629	△17.9	2,995
負債合計	13,521	12,799	△722	△5.3	13,549
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	5,007	5,007	—		5,007
資本剰余金	4,120	4,120	—		4,120
利益剰余金	△669	△593	75		△527
自己株式	△19	△24	△4		△23
株主資本合計	8,440	8,510	70	0.8	8,577
II 評価・換算差額等					
_{その他有価証券評価差額金}	240	193	△47		210
_{為替換算調整勘定}	△20	△26	△5		△21
評価・換算差額等合計	219	166	△52	△24.0	188
III 少数株主持分	18	20	1	8.0	17
純資産合計	8,678	8,698	19	0.2	8,783
負債、純資産合計	22,199	21,497	△702	△3.2	22,333

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	5,171	4,882	△289	△5.6	22,335
II 売上原価	3,512	3,445	△67	△1.9	15,515
売上総利益	1,659	1,437	△221	△13.4	6,820
III 販売費及び一般管理費	1,532	1,518	△14	△1.0	6,160
営業利益	126	△81	△207	—	659
IV 営業外収益	69	53	△16	△23.6	151
V 営業外費用	57	56	△0	△1.5	245
経常利益	138	△84	△222	—	565
VI 特別利益	93	0	△93	△100.0	114
VII 特別損失	53	—	△53	—	142
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	177	△84	△262	—	537
税金費用	86	△21	△107	—	296
少数株主利益	2	3	0	11.8	10
四半期(当期) 純利益	88	△66	△155	—	230